



夕焼け

第二課

# 単語

横合い → 余所・余所者・部外者

きゅっと＋？

強張る → 強がる

受難者 → 被害者

淡々と → 淡淡

感銘＋？

そぞろ（副）：これという理由もなく，ある感情や心理がわき起こるさま。→

思わず：そうするつもりではなかったのに，無意識に行うさま。

知らずに：...を経験することがない，...に対して無感覚であるなどの意を表す。

つい：① そうする気持ちのないままに，そのことをしてしまうさま。思わず。うっかり。「腹

# 単語

つい：① そうする気持ちのないままに，そのことをしてしまうさま。思わず。うっかり。「腹が立って—怒鳴ってしまった」② そうしようという気持ちがありながら，実際に行う機会を失ってしまったさま。「気の毒で—言いそびれる」

何気なく：① 何の考えもない。特に深い意図もない。「—・く言った言葉で人を傷つける」  
② 別に気にもとめていない。さりげない。「—・い風を装う」

染みる → 染める

それで： 前述の事柄を理由として次の帰結へ続ける場合に用いる語。それだから。そのため

に。「天候が不順になった。—登頂を断念した」 → そこで：前に述べた事柄が原因・前

提となって，次に述べる事柄が起こることを表す。「人数が増えて手狭になった。—新しい家を見

# 単語

つけたい」

朦朧 → ぼやける、ぼんやり

向く：その人や物に適する。ふさわしい。「自分に―・いた仕事」「運動に―・いた服装」

**注意：** 顔がある物に面する。また，そうなるように動く。「窓の方を―・く」

# 文型

## 1. ～たろう (級外)

意味：過去の事柄やすでに完了し実現した事柄についての推量・想像などの意を表す。だろう。

## 2. ところが (N2)

意味：予想や期待に反したことを述べはじめようとするときに用いる語。

例：万事まるく収まるはずだった。—とんでもないことになった。

→ ところで：話題を変えて話しはじめる時に用いる。それはそうと。「—今日はおひまですか」

→ ～たところ (が)：① (順接条件) 前の事柄が起こった後，引き続き後の事柄が起こることを表す。「...した。すると」の意。「交番で聞いた—，すぐわかった」② (逆接条件) 前の事柄を予想していたのに，予想に反して好ましくない結果となってしまうことを表す。「...し

たのに...の音 「彼のことを考えているという注音した...かき...て悩まされてしまった。「今度はずつ

# 文型

たのに」の意。「彼のことを考えているいる注意したー、かえって恨まれてしまった」

→ ところに

## 3. なり

① 意味：体言の下に付いて、それによって制約・決定された状態、それ相応の状態などの意を表す。

例：「彼には彼ーの意地がある」「背が高ければ高いーの悩みがある」

② 意味：ある動作・作用が行われると同時に次の動作・作用が行われるという場合に、その先行動作・作用を表す。...するやいなや。...と同時に。

例：「家へ帰るー泣き出した」「叫び声をあげるー相手におどりかかる」

# 文型

- ③ (助動詞「た」に付いて, 「...たなり」の形で) ある動作・状態のままに他の動作をするという場合に, その先行動作・状態を表す。そのままの形で。

「洋服を着たー, 寝てしまった」 「家を出たー, いつまでも帰らない」

# 精読

- 1.三度目の時、娘がどうして顔があげられなかったのか、当ててみなさい。
- 2.「受難者」の意味をどうとらえれば良いのか。
- 3.三度目に目の前にくる年寄りに対して、娘はどう思っているのか、当ててみなさい。
- 4.文章から、日本の現代詩と中国の現代詩には、どのような違いがあるのか、当ててみなさい。